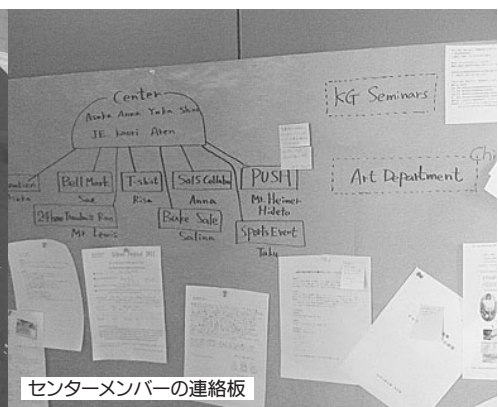




チャリティーTシャツ

センターメンバーの連絡板

センターの仕事その二：校内の他の支援活動との連動 校内には、センターが管轄しているもの以外の支援活動もあります。それらとも連動し情報交換をしています。具体的には以下の二つです。ひとつはOISの小学生のArtの教員であるMs. Henbestが行っているChildren's Wishes for Japan (<http://web.me.com/jhcalvillo/ChildrensWishesForJapan/CWJ.html>)。布のバッグをデザインし、中に小学生がArtの授業で描いた絵や手紙を入れ、英語で書いた手紙を日本語の授業で翻訳し、さらにクレヨンや絵の具などの画材を入れて被災地に届けるという活動です。こちらはOISの小学生が中心の活動で、保護者が資金繰りのバイクセールなどを行っています。もうひとつはOISのシニア(12年生)の旅行。本来ならば5月末から6月にかけて、卒業前の旅行としてHabitat for Humanityの活動でタイに行って家を建てるべく、これまで様々な形での資金集めをして準備していたのですが、タイ行きは既にキャンセルし、東北への支援ボランティアにでかける方向で情報集めと準備をしています。

センターの仕事その三：正しい知識をもつための学びの場をもつこと 関西学院大学には、災害復興制度研究所があり、現地での活動をしてきた教授や学生の話聞くことができます。先日はセンターのメンバーが大学でのシンポジウムに参加して来ましたが、今後は話を聞きたいと思う中学生・高校生の誰でもが話を聞けるワークショップのような場を設けることを検討しています。また、前述のOISシニアの旅行が実現した暁にはぜひ参加した生徒の報告を聞ける会も設定したい、と計画しています。

コンサートだ、バイクセールだ、などと聞くと、なんだか自分たちが勝手に楽しんで活動しているだけみたいね、と聞こえるかもしれません。実際そういう面はもちろん大いに含まれていると思います。でも、センターの生徒たちも各イベントの企画者も、「自分らしいやり方で何かの役に立ちたい」という純粋な気持ちからはじめているのですから、その実際の活動において

は大いに楽しんで取り組めばよいのだと思います。これまでの動きを見ていて、センターの活動がSISとOISのミッションである、Informed, caring, creating individual contributing to a global community(=知識をもち、思いやりをもち、創造力をもって世界に貢献する個人)を実行してくれていることは誇りです。ここでのcreativeは、この場では「自分たちらしいやり方」という解釈をしたいです。また、日本の学校としての立場での活動と、インターナショナルスクールとしての視点からの活動がミックスしていることは、建学の理念の一つであるTwo Schools Togetherの現われだと思つと、手前味噌ながらもますます誇りに思っています。冒頭で、決して「ほかの学校では見られない特別ユニークなこと」をしているわけではないと書きましたが、二つの学校が一体になっているからならでは文化があることや、生徒主導で動いていることはちょっと(いや、かなり)自慢に思える本校のユニークさと言っても許されるのではないかと考えてきました。ボランティアも支援活動も、所詮、自己満足あるいはおせっかいでしかないのかもしれない、ということを自分に言い聞かせながらするべきものだと思うのです。その基本スタンスを忘れずに生徒たちには息の長い活動として取り組んでもらいたいと思っています。Informedで、CaringでCreativeなやり方で。。。

~~~~~

**関西学院 千里国際中等部・高等部**  
 〒652-0032 大阪府茨貫面市小野原西 4-4-16  
 TEL: 072-727-5070 FAX: 072-727-5055  
 HP: [www.senri.ed.jp](http://www.senri.ed.jp) E-mail: [admissions@senri.ed.jp](mailto:admissions@senri.ed.jp)

 地震・津波・原発という未曾有の災害を契機に、千里の生徒たちが見せた活動の紹介です。  
 中・高校生の関心・視点と行動力で、自主的に、創造的な活動を展開していく姿は印象に残ります。その活動の中で、普通の学校のSISとインター校のOISの生徒たちが、自然体で力を合わせている姿を、井藤先生はもっとも、自慢に思い、誇りを持ってよいと思います。この活動経験の中から、生徒たちがさらに大きな夢や希望を抱くことを強く願います。それが、この大災害の被害者への追悼となるのです。